

令和7年10月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和7年10月15日（水）午後2時30分～午後3時20分

2. 場 所 市役所新館 4階 第一委員会室

3. 出席者

教育長 大下 達哉 教育長職務代理者 植原 和彦 委 員 野口 和江
委 員 和田 郁美 委 員 伊藤 雅彦

4. 事務局出席者

教育総務部長 山田 潤／学校教育部長 長岡 英晃／生涯学習部長 池内 正彰
総務課長 柿花 真紀子／学校適正配置推進課長 西河 鉄二／学校給食課長 寺埜 朗
学校管理課長 倉橋 良弥／産業高校学務課長 橋本 純／学校教育課長 石井 良和
人権教育課長 松本 真里／生涯学習課長 長谷川 真紀
スポーツ振興課長 仲村 英二／図書館長 宇野 義文／郷土文化課参事 平田 慎一郎
総務課参事 二宮 明生

開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に和田委員を指名した。
傍聴人2名。

○大下教育長

ただいまから、10月定例教育委員会会議を開催します。

報告第50号 令和8年度 市立幼稚園の3歳児申込状況について

○大下教育長

報告第50号について、説明をお願いします。

○柿花総務課長

報告第50号につきましては、令和8年度市立幼稚園の3歳児申込状況についてです。

市立幼稚園8園で実施しました3歳児の申込状況につきまして報告します。願書の受付は令和7年9月8日（月）、9日（火）の2日間で行いました。また定員を超える申込はありませんでしたので、公開抽選の実施はありませんでした。

施設ごとの申込受付等の状況につきましては、各施設25名定員のところ、表に記載のとおり、定員を超える応募はいずれの園でもありませんでしたので、全員申し込まれた方がそのまま入園できるという状況です。一番右端の行に空き状況を▲でお示ししています。定員合計は200名で申込が76名でしたので、現在124名空きがあるという状況です。

9月26日から受入枠の残っている全園で随時募集をし、希望者を受入れいたします。

その他欄に、参考に、来年4月開園予定の、春木・大芝こども園の1号認定の受付状況等も載せています。※1つめに、幼稚園からの転園希望者は、すべて転園可能と記載をしています。※2つめが詳細です。それぞれの歳児の定員があり、そこから幼稚園からの転園者数を引いた数を募集しました結果、3歳、4歳は希望者が入園できるという状況です。5歳に関しては、募集時点から待機募集という形の募集で、1名待機申込があったと聞いています。

別紙として、参考に幼稚園の3歳児募集受付状況の経年変化を添付しています。全体の傾向としては、令和4年度募集分からは、定員を超える申込がなく、全園抽選未実施となっており、報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

今の社会の動きから1号認定の枠に入られる子どもさんはおそらく減っているのだと思うのですが、市全体で3歳児以上の子どもさんは、どこかの幼稚園や保育所、こども園等に通われている場合が多いと思いますが、その中で1号認定で入園されている子どもさんの割合がわかりましたら、次回で結構ですのでまた教えていただきたいと思います。

○柿花総務課長

現在、1号認定の枠ということで申し上げますと、受入れ施設としましては、公立の幼稚園や認定こども園といった就学前施設がありますが、それ以外も、私立幼稚園等もありますので、1号認定枠の割合を確認して報告したいと思います。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第51号 ウインドエアコン等の寄贈について

○大下教育長

報告第51号について、説明をお願いします。

○倉橋学校管理課長

報告第51号につきましては、ウインドエアコン等の寄贈についてです。

寄贈品名はウインドエアコン1台、長机9台の寄贈です。換算額は14万800円です。

寄贈目的は、中央小学校の教育活動に使用のためで、寄贈者は、中央会（中央小学校の見守りボランティアの会）様です。寄贈年月日は令和7年9月1日で、寄贈品の主な写真は別紙のとおりです。報告は以上です。

○植原教育長職務代理者

このウインドエアコンですが、中央小学校のどこに設置されたのでしょうか。1台なので校内のどこに設置されたのでしょうか。

○倉橋学校管理課長

学校からの報告では、1階に保健室があるのですが、その横が更衣室があり、更衣室の奥に、普段は相談室として利用しているカウンセリングルームがあるのですがそこに設置しております。

見守り隊の方は暑い中、低学年の見守りに続いて、高学年の見守りを行っておりますが、下

校の時間帯が空いてしまいますので、その間に休憩する場所が今までは、校内の廊下であり、待機する場所や休憩する場所がなかったことから、学校と相談するなかで、カウンセリングルームを利用させていただくことになりました。ただ、エアコンがなかったため、この見守り隊の方から、ご自身たちも利用できるということで、ウインドエアコンの提供を受けたと聞いております。

○植原教育長職務代理者

見守り隊にとってはいいことだと思います。小学校側の運用の問題ですが、カウンセリングルームの活用という点で、子どもにとっての別の部屋を設けるのでしょうか。

○倉橋学校管理課長

この部屋以外の場所があるかどうかは、確認はとれていないのですが、見守り隊の方が利用するのはあくまでも、低学年と高学年が下校する間の短い時間帯ですので、カウンセリングでの利用にあたっては大きな支障はないと考えております。

○植原教育長職務代理者

子どもの活動優先ということで理解いたしました。見守り隊の方にとって暑い季節は大変だと思います。感謝申し上げます。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 52 号 令和 7 年度「人権週間」(12 月 4 日～10 日)に関わる行事の実施について

○大下教育長

報告第 52 号について、説明をお願いします。

○松本人権教育課長

報告第 52 号につきましては、令和 7 年度「人権週間」(12 月 4 日～10 日)に関わる行事の実施についてです。

人権を考える市民の集いは、12 月 6 日(土) 14 時から 16 時、岸和田製鋼マドカホールで開催します。今年度は、「誰もが輝ける場所が必ずある」をテーマに講師に酒井響希さんを招聘し講演と岸和田市立桜台中学校吹奏楽部の生徒との演奏となっております。別添のチラシを配付させていただきました。

人権を守る作品展は、12 月 5 日(金) から 7 日(日) 10 時から 17 時まで、岸和田製鋼マドカホール 1 階展示場で、全小中学校、産業高等学校の児童生徒の人権標語と人権ポスター、園児、小中学生の写真パネル、夜間学級の鉛筆ポスターなどの展示をします。また、巡回人権を守る作品展は、記載の日時と会場で行います。

人権週間記念品として、子どもたちの作品の中から選ばれた標語 1 点とポスター 6 点を印刷したクリアホルダーを予定しています。

幼稚園から小学校、中学校、産業高等学校の幼児児童生徒及び全教職員 1 人 1 枚、12 月に配布を予定しております。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

例年、人権を考える市民の集いの場合は、講演等が行われることが中心ですが、今回は音楽

のみということですか。それとも講師である酒井さんからお話をいただいた後にこういう演奏が行われるということでしょうか。

○松本人権教育課長

今回も、酒井響希さんから講演をしていただくことになっております。そのあと、桜台中学校の吹奏楽部の生徒達との演奏コラボレーションすることになっております。

○伊藤委員

学校園で標語やポスター等を作られていると思いますが、小学校や中学校で、いじめのところにも繋がってくることでありますから、そのような関係の何か、学校で授業というか時間を設けて生徒たちと人権について語るといったような授業も設けているのでしょうか。

○松本人権教育課長

人権学習については、いじめも含めてですが、様々な人権課題について子ども達が学ぶ学習があります。障害のことを考えたり、ジェンダーについて考える学習等があります。児童生徒が作るポスターは、いじめをテーマにしたものや、平和をテーマにしたもの、様々な人権課題に関するポスターを製作しており、そのポスターを展示しております。

とくに、このなかから、いじめについてのポスターについては、あらためて、2月に市役所に展示させていただく予定をしています。

○伊藤委員

普段の授業のなかや学習を通じてポスター等を作られていると思いますが、せっかくこの人権週間があつて、人権を考える市民の集いという大きな事業が実施されているので、できればこの人権週間の間に、学校で何か特別にできる授業を実施できるのであれば、そこであらたに人権について考えるような授業を設けてもいいではと思いました。

○松本人権教育課長

人権週間では、各学校で、校長先生が講話を行う等、取組んでおりますが、また校園長会等を通じて案内していきたいと思います。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第53号 光陽地区公民館と高齢者ふれあいセンター朝陽の機能集約にかかる新公民館の名称案の選定結果について

○大下教育長

報告第53号について、説明をお願いします。

○長谷川生涯学習課長

報告第53号につきましては、光陽地区公民館と高齢者ふれあいセンター朝陽の機能集約にかかる新公民館の名称案の選定結果についてです。

名称候補は「ふれあい光陽公民館」です。応募の総数は、22件でした。

別紙1をご覧ください。応募箱とロゴフォームからご応募いただきましたが、応募箱に10件、ロゴフォームで12件でした。

別紙2の2選定基準にありますように、応募数が多いもの、わかりやすく、呼びやすく、親しみやすいもの、所在地名などから新公民館が特定しやすいものとなっておりますので、名称

選定委員会を8月末に開催の上、選定基準に照らして、「ふれあい光陽」を選定しました。

正式名称ですので、条例改正の議案議決後、正式名称として決定となります。議決後、広報・ホームページなどでも周知させていただく予定です。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。
ないようですので、報告として承りました。

報告第54号 第45回 市民スポーツカーニバルの開催について

○大下教育長

報告第54号について、説明をお願いします。

○仲村スポーツ振興課長

報告第54号につきましては、第45回市民スポーツカーニバルの開催についてです。

毎年、11月3日の文化の日に、まなび中央公園スポーツ広場におきまして、子どもから高齢者までスポーツを楽しんでいただけるよう、各種団体にご協力いただき開催しているイベントです。昭和55年に第1回が開催され、今年で45回目となります。プログラム内容は別紙①をご覧ください。

「綱引き」、「リレー」、「ムカデ競走」に加え、昼食時の「ヒップホップダンス」を行います。これは今年度、部活動地域移行の実証事業を実施している桜台中学校と久米田中学校のダンス部が披露してくれます。

また、午後の「みんなで挑戦岸和田3種」を初めて実施いたします。3種とは、ジャベリック（やり投げの様にこのジャベリックボールを投げて、その距離を競う競技）、立ち5段飛び、30m走となっています。こちらは、小中学生を対象に先着400人の参加となり、後日、QRコードで自身の順位を確認できるようになっています。

次に別紙②をご覧ください。こちらは、歴代の優勝校区一覧となっています。

綱引きは「東葛城」が、ゴーゴームカデは「中央」が強いようです。

最後に、周知につきましては、広報きしわだ10月号や市のホームページの他、回覧板や町会掲示板などを活用し、地域でのPRも進めています。

また、大会の結果についても、市ホームページに掲載する予定です。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○和田委員

「みんなで挑戦岸和田3種」という競技が初めて実施されるそうですが、これは事前に参加の予約が要るのでしょうか。またそのなかの立ち5段飛びという競技はどのようなものでしょうか。

○仲村スポーツ振興課長

こちらの競技は自由参加になります。当日、先着順にはなるのですが小・中学校の皆さんにご参加いただこうと思っております。

立ち5段飛びは、走り幅跳びではなくて、その場から飛ぶという立ち幅跳びで、それを5回ステップが踏めるという競技です。

○和田委員

校区観覧席の位置ですが、どのように決めているのでしょうか。

○仲村スポーツ振興課長

例年、校区の並びは近くの校区同士が近くになるような形でして、配置については年ごとに回している状況です。

○伊藤委員

スポーツですので、けがとかが伴う場合もあるのではないかなと思いますが、救護体制は整備されているのでしょうか。また今回で45回目ということですが、これまでに大きなけが等はなかったのでしょうか。フリーでの参加だと、「みんなで楽しく3色玉入れ」といった競技でしたら大丈夫かもしれないですが、例えば「みんなで挑戦岸和田3種」では、立ち5段跳びでは普段運動していない方が、急に跳んだりすると心配な部分があります。準備運動や救護体制はどのようにされているかという点が気になりました。

○仲村スポーツ振興課長

運動不足の方もいらっしゃるかもしれませんので、まず初めにラジオ体操を全体でさせていただくとともに、今回のイベントにあたりましては、スポーツ推進委員協議会の皆様をはじめ、各種団体の皆様にご尽力いただき、当日の見守り体制や安全対策につきましても、万全を期して臨むようにしておりますので、その点は引き続き、毎年の通り、しっかりと対応をとっていきたいと考えております。

○大下教育長

毎年その点を確認をさせていただいて、看護師の方に待機していただいていたいました。とくに大事なものはAEDの確保ですが、近くにあるのか、会場へ持っていくのか、緊急時に備えて徹底していただくようお願いしたいと思います。

天候などによる開催決定は市のホームページでと記載があるのですが、早くからホームページをご覧になり、いつの時点で掲載されるのかを気にされる方もいらっしゃると思います。何時に掲載するというめどがあれば教えていただきたいのと、このチラシにも掲載しておいたほうがいいのではないかと思います。

○仲村スポーツ振興課長

雨天の場合の中止のお知らせは、2段階で考えておりまして、まず前日の夕方6時の時点で確実に翌日が雨であるということがわかっていれば、その時点で中止の周知をさせていただきます。ただ、当日にならないと天候がわからない場合がありますので、2段階目として当日の朝5時半の時点で、最終的に、雨天中止にするのか、決行するのかということを周知させていただく予定です。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第55号 特別展「きしわだ自然資料館 とともに歩んだ30年 みんなで育て、みんなで楽しむミュージアムをめざして」の開催について

○大下教育長

報告第55号について、説明をお願いします。

○平田郷土文化課参事

報告第 55 号につきましては、特別展「きしわだ自然資料館 とともに歩んだ 30 年 みんなで育て、みんなで楽しむミュージアムをめざして」の開催についてです。

概要ですが、きしわだ自然資料館 1 階ホールにて、11 月 1 日の土曜日から、来年 1 月 12 日の月曜祝日までです。休館日は月曜と年末年始で、祝日は開館します。大人の入場料は 400 円です。なお、展示準備のため 10 月 30 日（木）は臨時休館いたします。

令和 5 年度は約 5,309 人、令和 6 年度は約 4,602 人に入場いただいています。

趣旨は、今年の 6 月 1 日に開館 30 周年を迎えたきしわだ自然資料館について、その 30 年の活動の歴史を振り返りつつ、地域の自然の変遷をたどり、それをしっかり把握して保全していく取り組みについて紹介するものです。

展示の構成としましては、(5) に記載のとおり、30 年の歴史や自然資料館が建設される前のことも含め、30 年を振り返ります。

主な展示資料は、自然資料館の 30 年にわたる活動の中で蓄積されてきた様々な標本のうち学術的にとくに重要なもの、例えば元岸和田高等学校教員の中島徳一郎（なかじまとくいちろう）氏の大阪府内からはすでに絶滅した種を含む植物標本コレクションや開館直前に発見されたキシワダワニの化石標本の実物展示を予定しております。また、全国レベルでの知名度を誇るチリメンモンスターについても展示や関連イベントの中で取り上げていくほか、特色のある展示として、開館当初からあり博物館関係者から高い評価を受けている市民が野外で発見し、自然資料館へ持ち込んだ標本を、コメントをつけてそのまま展示するコーナーである「発見ボックス」を、その設立経緯も含めて紹介したいと考えています。

周知方法は、広報きしわだ 11 月号、市のホームページ、自然資料館の SNS、駅貼りポスターやちらしなどによって行います。報告は以上です。

○大下教育長

報告が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○植原教育長職務代理者

自然資料館はもう博物館法における登録博物館になったのでしょうか。

○平田郷土文化課参事

現状は博物館相当施設という扱いで、博物館法改正がありましたので、今は指定施設という呼び方になりましたが、そのままの状態です。できれば文化庁としても、博物館登録を進めてほしいところもあるようなので、できれば今年度中に博物館登録をしたいと思っております。

○大下教育長

それぞれの専門分野の方はそれぞれ興味関心の違うところがあるので、一言で言いにくいのですが、市民の方が、この展覧会でとくに目玉と思われる展示は何になるのでしょうか。

○平田郷土文化課参事

何に関心を持たれるかなというところではありますが、とくに友の会の方をはじめ、長年に渡り自然資料館に関わってくださっている方は、開館当初の館の状況やその当時の町の様子、自然の風景といったものに関心を持たれている方が多いかと思います。市制 100 周年のときにもそのような展示をしたことがあり、内輪ネタにならないようにしないといけないと思うのですが、コアな方々にはそういうところをしっかりと展示で見せていきたいと考えています。

もちろん、自然資料館ですので、生物や地学といった学術的な部分に興味を持たれている方もいらっしゃると思います。やはり自然資料館が収蔵庫にいろいろ蓄積してきたなかで、コレクションとしてはどういう特色があるのか、研究活動はどのようなことをしているのか、普及活動としてもどのようなことをして充実させているのかというところに関心を持たれている方が多いので、この部分を重視しながら、開館当初の話とともに、コレクション、標本類をしっかりと紹介できるようにしたいと考えております。

○大下教育長

大阪大学では、校舎を建設するときにワニの化石が出てきてマチカネワニということでかなりPRされていきました。子どもはわりと怪獣系が好きで、爬虫類が好きな子も多いので、平田参事からお話がありましたキシワダワニについては実物が展示されるということで、大きさにもよるのですが、これをうまく伝えていけば、来館者の増加に繋がるのではないかと思います。

○平田郷土文化課参事

実は、キシワダワニとマチカネワニは同種であるという研究結果があります。もともと常設でレプリカを展示していますが、単に実物で同じ内容を紹介するというよりは、もう少し踏み込んだ内容にしたいと考えています。研究者が実際に標本を使って研究され、マチカネワニと同種であるということになったのですが、この10年ぐらいの間に研究が進んだことで、ワニの進化の中でキシワダワニが学術的にどういう位置づけにあるのかということや、このような地方の小さい博物館にある標本が、実は、世界の研究にも貢献できているという部分を紹介できたらと考えています。

○大下教育長

趣旨の中に「きしわだ自然資料館が将来どのような場になっていくのが望ましいのかを展望する場」との記載があるのですが、これは下の構成のところで言うと、「自然資料館にお頼み申す」というところで、将来こんな資料館になって欲しいなということを書いてもらうということなのでしょうか。

○平田郷土文化課参事

そのような趣旨で考えております。比較的よく使う手法なのですが、付箋を使ってコメントを書いてもらうことで、どういうことをして欲しいか、意見を集めたいと考えています。今、展示や普及活動等、バランスを取りながら行っているのですが、こういう内容について充実させて欲しいとか、そのような今後の運営や企画を考えていく中でも、市民の方のいろいろな思いを取入れることを考えています。やり方は付箋に書いて貼ってもらったり、アンケートボックスに入れてもらうというものです。

○伊藤委員

小学生ぐらいでしたら、一番自然のものであったり生物であったり、いろいろと興味を持つと思うのですが、このきしわだ自然資料館では小学校の授業とリンクさせて、ここを活用している事例はあるのでしょうか。

○平田郷土文化課参事

小学校5年の大地の学習のときには、資料館の実物化石を貸出し用のキットとして用意しているので、授業の中で実際に触ってもらうことができます。石膏でレプリカが作れるようにシ

リコン製の型があり、そういうものも貸出し用キットとして用意してあります。さらに詳しく取組みたい場合には、実際に学芸員や関連スタッフが訪問してお話をすることもあります。とくに化石のレプリカ関係なんかは学習指導要領との関連をつけやすいものです。チリメンモンスターも啓林館の中学校の教科書に載っていますので、一番人気のある出前事業となっており、年間かなりたくさん実施しています。

来館してもらって実施する場合もあるのですが、大きい学校の場合、館の前まで大型バスが直接入って来られないといった課題があるので、来館しにくい場合はこちらから伺って実施しています。

○伊藤委員

素晴らしい施設があるので、もっと活用したら市民にも周知できると思います。私自身もチリメンモンスターのファンなのですが、小学生ぐらいのときは一番興味を持っていると思いますので、できるだけ小学校の授業で、きしわだ自然資料館を活用して、子ども達にいろいろと興味を持ってもらうことが大事だと思います。

○野口委員

ともに歩んだ30年というこのポスターを見て、今回、自然資料館で興味を引かれるものは何だろうかとか、何が見られるんだろうということがわかりにくいと感じました。ポスターに描かれている絵はとてもすてきだと思うのですが、タイトルのともに歩んだ30年のコンセプトが伝わりにくいのではと感じました。ポスターには自然資料館の各フロア、3階は剥製の展示室、2階は常設展示室、1階は研修室と知っている人が見るとわかるのですが、ともに歩んだ30年のわくわく感が伝わるのかどうか気になりました。今回のデザインにされた経緯を教えていただきたいと思います。

○平田郷土文化課参事

デザインとしては、館内の様子をイラスト化したら面白いのではないかとということで、イラストが先行したところがあったかと思います。特別展の中身を考えて、タイトルを検討していくなかで、やはりうちの活動の特色は、チリメンモンスターとかもそうなんですが、友の会の方々と一緒に活動しており、また、市民の方が持ち込んだものを展示する発見ボックス等、いろいろな方々に支えられてきたというところがありますので、それをタイトルにしようということになったので、ポスターのデザインと、厳密にリンクしているかということ、確かに弱い部分があったのかなというところはあります。

○野口委員

入場料をいただいて、来ていただく取組なので、たくさんの人に来ていただきたいので、来場される多くの方が科学を専門とする方ではなく、一般の方々だと思いますので、そういう人たちがポスターを一目見て、何か面白そうだと感じられたらいいなと思いました。

○大下教育長

実は先程、展示の目玉は何でしょうかとお尋ねしたのも、野口委員のご意見と共通するものだと思います。イラストについてはプロの方に依頼をして作成されたものですから、変更することは難しいでしょうから、「公式サイトはこちら！」という2次元コードを載せていますので、その中を見にいったときに、例えば「なんと岸和田にもワニがいた」とか、「チリモンがまたやってくる」とか、何か子どもたちの興味関心を引くようなキャッチフレーズを使ってい

ただいたらいいのではないかと思いますので、ご検討ください。

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。

ないようですので、これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後3時20分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員